

日本海洋科学振興財団 海外渡航費用援助 報告書

2025年 1月 20日

氏名	柚木 啓輔	
所属機関	機関名 (大学院生は大学院と研究科名まで)	京都大学大学院理学研究科化学専攻
	職名 (学生は学年)	修士2年
渡航期間	2024年8月13日 ~ 2024年8月25日	
渡航先	Chicago, Florida (United States of America)	
渡航目的とその成果、感想	<p>渡航目的</p> <p>University of South FloridaのTim Conway博士の研究室を訪問し、私の研究テーマについて議論するため。</p> <p>Goldschmidt2024に参加し、” Removal and supply mechanism of trace metals (Fe, Ni, Cu, Zn, Cd, and Pb) in the hydrothermal system of Izu-Bonin-Mariana arc” という題目でポスター発表するため。</p> <p>成果および感想</p> <p>University of South FloridaのTim Conway博士の研究室を訪問し、研究室見学と研究内容の説明を受けた。Tim Conway博士の研究は、現在執筆中の修士論文テーマと関連が深く、研究を進める上で非常に有益な情報を得ることができた。</p> <p>続いて、シカゴで開催されたGoldschmidt2024に参加し、ポスター発表を行った。ポスター発表では、約15人の聴講者から質問を受け、活発な議論を交わすことができた。特に、同一サンプルを元素組成の観点から分析している聴講者と意見交換をすることができ、研究内容をより深めることができた。英語による発表は緊張したが、聴講者の質問に対して概ね答えることができた。ポスター発表がない日は、興味のある発表を聴講した。地球形成初期から未来予測まで、幅広いテーマのセッションに参加し、研究活動への刺激を受けた。</p>	